



# Marine Snow

@asamushi aquarium

2013

## 「The マグロ」展を開催して



# 鮪



2012年の築地の初競りにおいて青森・大間産のクロマグロ(268kg)が、5,649万円という史上最高値で競り落とされました。この事は、日本人のマグロに対する思い入れの一つの表れではないかと思う反面、多くの人々はマグロに関しての知識というものをどれほど持っているのだろうかという疑問にも行き当たりました。

そこで、マグロに関する様々な事柄を紹介する企画展を計画し、青森とマグロの関わりやマグロの種類について、さらにマグロの利用についてなど身近でありながら意外と知られていないであろうことなどを紹介しました。また、葛西臨海水族園様のご協力で、クロマグロの産卵から稚魚までの成長過程をビデオと標本で紹介することができました。

日本人にとって最もなじみのある魚のひとつである「マグロ」。世界中で漁獲されるマグロのうち、4分の1から3分の1を日本で消費しているということにまず驚かされますが、自分たちが一体どのようなマグロを口にしているのかということまで理解している人はほとんどいません。まして、巷では生から缶詰まで様々な形で流通し、さらにその呼び名も様々といったのが現状です。

「マグロ」という言葉は、マグロ属に含まれる魚の総称として使われている訳ですが、そもそもマグロ属に含まれている種類をご存知でしょうか？種類としては世界中で8種が知られお

り、その中で主要な漁業対象になっている魚種は、クロマグロ、タイセイヨウクロマグロ、ミナミマグロ、ピンナガ、メバチ、キハダの6種類になります。

ここで『あれ？ホンマグロやビントロマグロは!?!』と思われた方、これらの名前はそれぞれクロマグロの別名とピンナガのトロの部分の呼び方なのです。

マグロ類は同一種でも地方や成長段階で地方名や別名など様々な呼び名があり、さらに食べる部位によってもまた細かく呼び名があるものですから、多くの人々は自分で食べているマグロの正しい名前を知らずに(意識していませんが)口にしているという状態です。

今回の特別展を通して、少しでもマグロに関心を持っていただけなのならうれしいのですが、まだまだ紹介できずにいることも沢山あります。機会があればさらに多くの事をお伝えできればと考えています。

最後に今回の特別展の開催にあたりご協力頂いた、葛西臨海水族園、(独)水産総合研究センター、日本かつお・まぐろ漁業協同組合の皆様へ深く感謝申し上げます。

追記:2013年1月5日、築地初競りでなんと大間のマグロ(222kg)が1億5,540万円というとんでもない金額で競り落とされました。キロ単価にすると70万円、2012年の3倍以上の史上最高値です。

## アカウミガメの保護

アカウミガメを保護しました。このアカウミガメは、強い西風が吹いていた2012年12月2日、陸奥湾に面した上北郡横浜町の海岸にナマコやウマヅラハギなどと一緒に打ち上げられていました。大きさは、甲長8cm、甲幅7.5cm、体重99g、当館がこれまでに保護したウミガメの中で最も小さいものです。

アカウミガメの日本での産卵場所は太平洋側で福島県以南、日本海側で石川県の能登半島以南となっています。ふ化後は海流に乗りはるか北アメリカ西海岸あたりまで回遊するとされています。今回の保護個体は、日本海側の産卵場所でふ化したものが対馬暖流に乗りそのまま北上し、津軽海峡から陸奥湾内へ迷い込んで、強い西風の影響で横浜町の海岸に打ち上げられたものと思われます。北太平洋に生息するアカウミガメは、日本沿岸域を唯一の産卵場所としアメリカ側には産卵場所は存在しないのだそうです。

2012年7月15日、新潟県北区太夫浜の海岸でアカウミガメが産卵したという情報がありました。日本海側の産卵場所としては、それまでの最北地であった石川県輪島市の記録を更新することになります。もしかしたらそこでふ化したうちの1頭なのかも知れません。いずれ体力が回復したら、本来泳いでいた海流に標識をつけて放流する予定です。



## ありがとうモモタロウ 君のこと忘れないよ

モモタロウが亡くなりました。2004年5月28日生まれ、産後1ヶ月程で病死した母親に代わり私たちがミルクを飲ませて育てたラッコです。当時、ラッコの人工哺育に関する情報はまだ少なく、6ヶ月におよぶ24時間体制でのケアは大変な経験でした。ラッコは短命な動物ではありますが、15年以上生きる個体も珍しくはありません。8才を迎えてこれからの成長を楽しみにしていました。

ところが、2012年9月4日、突如として食欲不振となり、食べた餌を嘔吐。氷は口にするため電解質を含めて与え、様子を見たところ徐々に復調、食欲も回復しやがて普段と変わらない状態に戻りました。これが一過性のものであることを願いましたが、身体の中では変化が起こっていたのです。

9月9日朝、プールサイドに横たわるモモタロウを発見。前日はお気に入りの玩具で元気に遊ぶ姿が見られていたので、目を疑いました。解剖の結果、腫大した脾臓が1cm程裂けており、そこから腹腔内に大量に出血していました。細菌学的な検査では、主要臓器や血液からは有意な菌は分離されませんでした。組織所見では、肝臓類洞内に中程度のうっ血が見られ、心筋線維のびまん性空胞変性、硝子性変性がまばらに見られました。腎臓と肺についてのペルリンブルー染色で褐色顆粒が青染色したことから、慢性うっ血などで認められるヘモジデリンであることが判明。診断は、心機能低下による循環障害からの極度なうっ血により脾臓が著しく腫脹して破裂、大量出血による死亡です。



1982年に日本でラッコの飼育が始まってから30年。ピークの1994年には、28園館で122頭が飼育されていましたが、現在は30頭足らずまで減っています。アラスカのタンカー座礁原油流出事故などにより野生種が減ったため、ラッコはIUCN(国際自然保護連合)の絶滅危惧種に指定され保護の対象となりました。

1998年を最後に入手は困難となっています。日本国内で飼育されるラッコは、高齢化が進み繁殖は年々厳しさを増しており、ブリーディングローンで繁殖に繋げようという努力も続けられているのですが、危機的な状況は変わりません。



## Xmasディナー (Menu de Noël)

2008年7月にオープンした「レストランこころ」も御陰さまで4年目を迎えました。店の名前は、当館のマスコットキャラクター「こころちゃん」から命名。フレンチをメインに地元の皆様にも親しまれる様にと地産地消をテーマにメニュー作りを進めてまいりました。

恒例になりましたクリスマス企画は、トンネル水槽前と内にテーブルをセットしたディナーです。セッティングからサービス、お料理、そして演出まで水族館職員の手作りです。

伝統的な料理をベースに、カジュアル感いっぱいなフレンチを提供し、目の前の水槽で悠然と泳ぐホシエイをご覧いただきながらのお食事です。テーブルに目をやれば、イルカのキャンドルの灯りがきらめきロマンチックな雰囲気醸し出し、ファミリーやカップルのお客様に大変好評でした。一皿に最高のおもてなしを添えてシェフが織り成す斬新な味覚の世界、オードブルからデザートまでフレンチが香るメニューです。特に食材にはこだわり、弘前市健康村の無農薬紅玉、ベビーリーフサラダなど青森特産品を多数使用しました。

今回の目玉は、キノコのスープ・パイ包み焼きです。パイを破った時のキノコの香りが水槽前を漂っていました。メインのお肉料理は青森県産交雑牛のステーキ。ミディアムレアで焼き上がったお肉の断面が綺麗なピンク色で食欲をそそります。また、タルトタタンにバニラアイスクリームを載せたデザートもイルカのクッキーを添えて水族館らしさ満点でした。水槽内のお魚たちの食事タイム、ディナーのフィナーレを飾る華やかな演出です。

青森の冬は、少し重苦しい雰囲気がありますが、この浅虫水族館のクリスマス企画はホットな感じのするスペシャルイベントです。



# 2012年の催し物

	Winter		3月	Spring		Summer			9月	Autumn		Winter
	1月	2月		4月	5月	6月	7月	8月		10月	11月	12月
社会教育活動	Jr.クラブ					☆イルカ ウォッチング 6/3	☆地引網体験 7/22		☆機観察 9/16		☆イルカ トレーナー 体験 11/11	☆海洋生物学 研究所を 見学しよう 12/2
	コンクール	☆版画展 1/1~3/30								☆図画展 10/6~3/31		
魚の 日替わり定食		☆トンネル 水槽のランチ 2月の 日曜日開催		☆トンネル 水槽のランチ 桜祭り期間中と 5月の日曜日開催			☆トンネル 水槽のランチ 夏祭り期間中の 日曜日開催		☆トンネル 水槽のランチ 10月の 日曜日開催		☆トンネル 水槽のランチ 12月の 日曜日開催	
恒例イベント	☆新春祭り inあさむし 水族館 1/1~1/9			☆桜祭り inあさむし 水族館 4/21~5/6			☆夏祭り inあさむし水族館 7/14~8/26		☆夜の水族館 見学会 毎週土曜日	☆夜の水族館 見学会 毎週土曜日	☆夜の水族館 見学会 毎週土曜日	
		☆正月水槽 12/27~ 1/15	☆バレンタイン 水槽 1/28~ 2/14			☆夜の水族館 見学会 毎週土曜日	☆わくわく ドキドキ探検隊 「水族館に泊まろう」 7/7~7/8	☆「スルメイカ」展示 7/14~9/2	☆「津軽鮭」展示 7/14~8/7	☆「スルメイカ」展示 7/14~9/2	☆「津軽鮭」展示 7/14~8/7	☆「スルメイカ」展示 7/14~9/2
今が旬水槽												☆クリスマス水槽 11/10~12/25
特別企画展				お魚さんとの懇話会からベレー漁員の工夫展 4/7~7/1				ペンギンの顔とトリビア展 7/14~8/26		The マグロ 9/15~11/11		
								ぎょ・キョ・キョ!! 鱈立人の食べ物発見 7/2~9/21				

## 飼育生物

	種類			点数		
	種	増	減	数	増	減
海水魚	177	19	28	3,064	972	1,768
淡水魚	92	4	9	5,731	2,817	1,280
無脊椎動物	88	15	24	1,505	826	1,699
両生類	11	1	2	89	42	31
爬虫類	3	1	1	9	1	1
イルカ	2	0	0	10	0	0
アシカ	1	0	0	4	0	0
アザラシ	1	0	0	1	0	2
ペンギン	2	0	0	12	0	1
ラッコ	0	0	1	0	0	1
合計	377	40	65	10,425	4,658	4,783

2012年12月31日現在

## 入館者数

	一般	団体	無料	合計
1月	7,206	998	2,349	10,553
2月	3,576	837	1,643	6,056
3月	11,551	1,026	3,716	16,293
4月	16,091	875	4,478	21,444
5月	30,926	3,586	8,888	43,400
6月	13,343	9,801	8,219	31,363
7月	19,533	4,640	7,430	31,603
8月	49,566	2,890	11,845	64,301
9月	20,986	757	6,889	28,632
10月	15,083	768	5,942	21,793
11月	10,533	593	3,575	14,701
12月	6,135	322	1,993	8,450
合計	204,529	27,093	66,967	298,589

## 入館料金

区分	一般・高校生	小・中学校	幼児
個人	1,000円	500円	無料
一般団体	10人以上	450円	無料
	30人以上	400円	無料
学校団体	500円	250円	無料
年間パスポート	2,500円	1,250円	

- 開館時間/09:00~17:00(入館は開館30分前まで)
- 休館日/年中無休(年末年始も休まず営業)

## 2012年の出来事

- ・ 2月1日~3日 酸ヶ湯で439cmの積雪を観測  
国道279号で400台の自動車が発着し  
生寝台列車「日本海」「きたくに」廃止
- ・ 3月16日 東京スカイツリー開業
- ・ 5月22日 東北新幹線開業30周年
- ・ 6月23日 新イルカショー  
「元気をくれる、仲間たち!!!」開始
- ・ 7月14日 ロンドンオリンピック開催
- ・ 7月27日~8月12日 関東東北ブロック園長会議、  
浅虫水族館で開催
- ・ 10月22日~23日

## マリンスノー No.31

2013年3月発行

青森県営浅虫水族館

〒039-3501 青森市浅虫字馬場山1の25

TEL 017-752-3377

FAX 017-752-3379

http://www.asamushi-aqua.com

## 表紙説明:ラッコ

2012年9月9日に死亡したラッコの「モモタロウ」です。